

わかすぎ

vol.138 2015.10



公益財団法人
三重子どもわかもの育成財団
三重県立みえこどもの城

〒515-0054
三重県松阪市立野町1291
中部台運動公園内
TEL0598-23-7735 FAX0598-23-7792
ホームページ <http://www.mie-cc.or.jp>



3月28日~
5月17日 おまたせました'第2弾!
にんにん忍者体験Z P8



みんなで修行をするのでござ〜!



4月~毎月
第3日曜日 家庭の日

4月~
毎月第3
日曜日 食育ひろば P7
はぐくみタイ夢



大豆を作ってくれた
おじいちゃんと一緒に

財団設立10周年
記念式典 P6



中学生と紀南地区青少年育成
市町民会議のみなさん



8月23日 中学生のメッセージ2015 P2-3

三重県環境保全事業団の協力により開催



8月8日 ぼくら生き物調査隊

アンサンブル部のみなさんの
ステージを開催!



7月19日

大学連携事業
皇學館大学ユースプロジェクト

9月21日



シルバーウィーク 3世代リフレッシュ体操

今年春



エントランスにミニ絵本コーナー開設



みんなでつくろう
みんなの宇宙!

5月30日

みえ次世代育成応援
ネットワーク交流フェア P4



5月30日~
6月28日 歯とお口の
健康づくりキャンペーン P5



6月5日

三重県児童館
連絡協議会
功労者表彰



6月13日

トワイライト
パラネタリウム
倶楽部



財団のシンボルマーク

地域社会の大きな枝葉が、子どもや若者や家族を温かく包み込むように支えるマークとなっています。中心の円の三色はそれぞれ黄色は「子ども」、橙色は「若者」、青色は「家族」を表しており、地域社会とともに育成支援をしていこうという当財団の思いを表しています。

第37回
少年の主張
三重県大会

「中学生のメッセージ2015」 紀南地区で開催!

平成27年
8月23日(日)
御浜町中央公民館

今年度は、応募総数7,885名の中から最終選考に残った中学生14名が、中学生らしい視点で堂々と発表をしてくれました。最優秀賞は、「おかえり」と題して家族への思いを素直な気持ちで語った紀北町立紀北中学校3年小谷原ひな子さんに決定しました。



ここ御浜町で、三重県内の中学生の皆さんと一緒に「中学生のメッセージ2015」という大きな舞台を共にできたことは、一生忘れません。この会場で感動を共にできたことは、お集まりいただいた皆さんにとってかけがえない「共有の宝物」になったと思います。

中学生の皆さん!この「宝物」を思い出しながら未来に向かってください。そして、三重県をどんどん盛り上げていってください。

紀南地区中学生のメッセージ実行委員会 会長 河辺 栄作様



世界遺産「花の窟」を笑顔でガイド!



熊野市立有馬中学校3年山口智也さん、西垣内優磨さんによる「わたしたちのふるさと案内」



この大会は、14人の発表者と司会、受付、案内、デザイン画、吹奏楽、ふるさと案内…中学生のみなさんが主役です。大人は、若い人たちの力になりたいのです。中学生のみなさんには、そんな大人の優しいまなざしを感じてほしいと思います。中学生のみなさんが大人になってみなさんの子どもが中学生になるまで、ずっとこの大会を育て続けていきたいと思っています。 公益財団法人三重こどもわかもの育成財団 理事長 太田 栄子



運営中学生、今日はみんなが主役です!



次回開催三泗地区にバトンが渡されました!



「大人からの応援メッセージ展」大人は若い人のチカラになりたい!



パフォーマンスもあり、素晴らしい吹奏楽演奏でした!



発表者14名と審査員のみなさん

各賞	学校名	学年	名前	タイトル
最優秀賞	紀北町立紀北中学校	3	小谷原ひな子	「おかえり」
優秀賞	鈴鹿中学校	2	井上 真衣	ちょっと考えてみませんか
	津市立橋北中学校	3	高橋玄太郎	平和な社会にするために
	皇學館中学校	1	西山 朱音	全力のチカラ
優良賞	名張市立桔梗が丘中学校	3	飯田 奨之	携帯端末機の普及と危険性について
	鈴鹿市立鈴峰中学校	3	伊藤 亜優	気持ちを大切に
	熊野市立木本中学校	3	川上 太陽	「大事な思いやり」 ～ラグビーを通して学んだこと～
	御浜町立御浜中学校	2	川崎 朱梨	私自身にとっての弟
	紀宝町立矢淵中学校	3	佐藤 佑	「平和について」
	鳥羽市立加茂中学校	3	藺田あすか	私の母
	御浜町立御浜中学校	3	仲村 凜乃	好きなもの
	桜丘中学校	1	庭田 凜	価値観の違い
	四日市市立桜中学校	3	橋本さつき	平和な未来のために
熊野市立五郷中学校	1	三鬼裕泰郎	僕の町 「助け合う心、思いやる心」	

審査委員長/西 孝 三重大学社会連携研究センター
社会連携特任教授
審査委員/間野 丈夫 三重テレビ放送株式会社 取締役
岡村 昌和 三重県健康福祉部子ども・家庭局 局長
西 章 紀宝町教育委員会 教育長
室谷 隆子 三重県小中学校長会
(熊野市立入鹿中学校 校長)
藤井 大造 三重県PTA連合会 常任幹事
池上 妙子 三重県私学協会
(メリノール女子学院中学校・高等学校 教諭)
赤沼 寛子 三重県教職員組合 書記次長
水元 正 公益財団法人三重こどもわかもの育成財団
副理事長 ※敬称略・順不同

運営参加協力中学校

司会・受付・案内/御浜町立御浜中学校、御浜町立尾呂志学園中学校、御浜町立阿田和中学校
吹奏楽演奏/紀宝町立矢淵中学校
デザイン画/熊野市立有馬中学校3年 若山のどかさん
デザイン画協力/熊野市立有馬中学校、熊野市立木本中学校、紀宝町立矢淵中学校 以上の学校の生徒のみなさんが協力してくれました



「おかえり」

祝 全国大会出場決定！
三重県代表出場は4年ぶりの快挙！



紀北町立紀北中学校 三年 ^{こやほら}小谷原 ひな子 さん

「おかえり。」

母はこの日も、私の帰りを楽しみにしていました。

母の癌が発覚したのは8年前でした。

まだ幼かった私には分からなかった母の苦しみ…。そのせいで未だに後悔をひきずる毎日…。

母は、本当は苦しいはずなのに、子どものために想い入院を断りました。だから、子どもの帰りが楽しみで、いつも嬉しそうに

「おかえり。」

と言ってくれました。しかし私は、いつ何が起こるか分からない恐怖と不安でいっぱいの母の気も知らず、遊びに行ってしまったのです。

このときの母の気持ちを考えると、胸が苦しくてたまりません。そして涙が止まりません。

ただそばにいてあげることなど、当時の小さい私にも簡単にできたことです。そんな簡単なことでも、母にとっては大きな安心につながったはずです。

私の体調が悪いとき、母は誰よりも心配し、ずっとずっとそばにいてくれたのに…。

初めて母の苦しむ姿を見たときも、怖くて何もしてあげることができませんでした。そして母は救急車で運ばれ、入院することになりました。

母が帰ってくると知らされたとき、「今度は私が“おかえり”を言う番だ」と、母が私の帰りを楽しみにしていたように、私は母の帰りを楽しみにしていました。

「お母さん、癌治ったんだ」という喜びと、「おかえり」を言うことで頭がいっぱいでした。しかし、6年前の3月30日、帰ってきたのは亡くなった母でした。

母がいることがあたりまえだと思っていた私が、それは決してあたりまえのことではないということに初めて気がついた日でした。

母とあいさつを交わすこと、母の料理を食べること、母に悩みを相談できること、母に怒られること、母とけんかすること、家に帰れば母の「おかえり」が聞けること。

私以外にも、このような母との関わりがうらやましいと思う人がいます。あたりまえとは言えない人がいるのです。だから、あたりまえだと思わないでください。幸せなのです。そんな毎日がすごくごく幸せなのです。

母親に腹を立て、「死ね」と言っているのをよく聞きます。実際、本当に願っているわけではないと思いますが、私は腹が立ちます。

あなたは、友達にも話せない悩みを誰に相談するのですか？

風邪をひいたとき、そばにいてくれるのは誰ですか？

どんなときもあなたを信じ、背中をおしてくれるのは誰ですか？

お母さんではありませんか？母親のことを何と言おうと、結局、みんな母親に頼っています。母親を必要としています。絶対に失いたくない存在なのです。だから、私のような後悔をしてほしくないのです。

確かに、今思えばあのとき、「おかえり」を言う母の声はいくら嬉しそうで明るい声でも、母の体はだるそうで、いつも何かにもたれていました。当時の私が今の私なら、そんな母を残して遊びに行くなど考えられません。このように、中学生にもなればもう、相手のことを考え実行することなど簡単です。だから、そんな簡単なことで後悔するのは絶対にやめてください。自分のためだけではありません。その後悔の数だけ、相手を傷つけてしまうのです。

少し前、友達に「もし願いが一つだけ叶うなら」と聞かれ、何も言えませんでした。心の中で私は迷わずこう答えました。「もう一度だけ、母の“おかえり”が聞きたい」と。

小谷原さんからのコメント

自分の素直な気持ちで発表しましたが、泣いている人がいて驚きました。受賞したことも驚きましたが、とてもうれしかったです。



※最優秀賞を受賞した小谷原さんは11月8日(日)に開催の「少年の主張全国大会」に出場されます。

協賛企業・団体紹介

※「中学生のメッセージ2015」は、ご覧の企業・団体のご協賛をいただいています。

3月21日(土)、22日(日)

むかしあそびっておもしろい!

3月21日、22日に行われた「むかしあそびイベント」、参加してくれた親子3912人、地域の達人150人。なつかしい遊びの世界で子どもたちは地域や世代を超えて楽しんでいました。

広げよう、つなげよう

地域協働型

こどもの城は子ども
笑顔と笑い声か

お手玉でパチンコゲーム



ダイアブロ



ゴロでっぼう



しぎ打ち体験



あやとり



わたがし



お餅つき体験



昔と昔ばなし



ボードゲームに挑戦



ストロー紙トンボ



協力団体の感想

★親子での参加で大変良かったです。自分も楽しませてもらいました

★親子でぎ打ち、親子のふれあいができてよかった

★お手玉パチンコは、子どもさんの“ヤッター”と喜びの声、やりがいがありました



参加団体による交流会!

「参加できてよかった」「これからもぜひ続けてほしい」という声。

協力団体 ※敬称略 順不同

- 四日市市青少年育成市民会議 (四日市市 少年自然の家)
- 尾鷲市青少年育成市民会議 桑名市青少年育成市民会議
- 紀宝町青少年育成町民会議 松尾まちづくり協議会
- (公社)松阪市シルバー人材センター「あざみの会」
- 松阪おもちゃの病院 みえ長寿推進協力員津連絡会
- 日本けん玉協会三重県支部 音楽ボランティアかのかん
- 皇學館大学奇術部 高田短期大学学生ボランティア
- 立野地区のみなさん みえこどもの城ボランティア

みえ次世代育成応援ネットワーク

子育て家庭交流フェア

みえ次世代育成応援ネットワークとは?

平成18年に、子どもや子育て家庭を応援しようという志のもと、企業や団体が集まり、立ち上がった組織です。会員それぞれが地域の“子どもの育ち”を支える取組を進めるとともに、毎年、子育て応援!わくわくフェスタの開催や子ども虐待防止・いじめ防止啓発キャンペーンへの参加などを行っています。

みんなであつろう みんなの宇宙!



ロケットの点灯式の様子



みっふる&しるぽの登場

メインイベントの「みんなであつろう みんなの宇宙!」では、ネットワークの会員である旭電気株式会社の協力のもとロケット点灯式を行いました。煙をあげて光りながら回転するロケットに子どもたちも目をキラキラとさせていました。

7月4日(土)、5日(日)

子ども応援の輪!

イベント

と大人の交流の場。
があふれます。

第3回 キッズおしごと広場

7月4日、5日に実施されたおしごと広場。

今年初参加となる企業も3社あり、おしごとの種類も増え3,133のお仕事体験を提供。慣れた企業さんと、大学生ボランティアさんは、笑顔で楽しく子どもたちに体験させてくれました。



歯医者体験



カメラマン・カメラマン体験



カメラマンのお仕事体験



カボチホ!ムせない飲みものづくり体験



あずきワークショップ



歯医者さんのおしごと体験



保育園の先生になってみよう!



クイズで"学ぼう!"世界のお金



かくかく電気実験



助産師ってどんなお仕事?



カラフルコンにゃくづくり



ホリ・ワタシの名刺を作ろう!

協力企業さんからの感想

- ★今年で2回目の子どもたちが実際の仕事体験を通して、その大変さや魅力を知りきっかけになったと思います
- ★3年目となり、今までより同りを見る余裕が出てきました。子ども達に自分の仕事を教えることで自分達も初心に帰るいい機会です

学生ボランティアの感想

- ★たくさんの親子と交流する事ができ、企業の方々もその職業についてお話ができたのが楽しかった
- ★最初は不安でしたが、回数を重ねていくうちに要領がわかり、うまく動けるようになりました

協力企業・団体

旭電気(株) 三重県農林水産部 森林・林業経営課 (一財)食品分析開発センター SUNATEC (株)直三衣裳店 (ボー・ジャルダン) (株)エスト ワイヤーママ三重 (千巻印刷産業(株)) 松阪ケーブルテレビ・ステーション(株) (株)第三銀行 万協製薬(株) 三重県立看護大学 (有)上野屋 下津醤油(株) (有)ケアステーションたきび (株)ジェントリー 新日本工業(株) 村井楽器(株) 旭美容専門学校 子育て・女性健康支援センター・みえ(助産師会) (有)深緑茶房 三重県歯科衛生士会(松阪支部) 岡三証券(株) 松阪警察署 伊勢赤十字病院(日本赤十字社三重県支部) (公社)松阪シルバー人材センター イセット(株) 三重コニックス(株) (有)野瀬商店 なでしこ苑 井村屋(株) (公社)三重県歯科医師会 ※敬称略 順不同

ボランティア協力

皇學館大学 鈴鹿短期大学 高田短期大学 三重県立看護大学 三重県立公衆衛生学院 ※敬称略 順不同

後援

三重県 松阪市 三重県中小企業家同友会

5月30日(土)~6月28日(日)

歯とお口の健康づくりキャンペーン

6月4日(木)~10日(水)「歯と口の健康週間」に合わせた、子どもの歯に関する企画展を実施しました。たくさんの親子が歯に関するクイズ、歯みがき指導、お口の健康相談、パパとママのお口の健康チェック、親子体験学習等に参加されました。また、顕微鏡で見る口腔内細菌の観察や歯みがき粉の作成など初めての体験にビックリとワクワクで楽しい一日となりました。



共催 三重県健康福祉部医療対策局(三重県口腔保健支援センター)、公益社団法人 三重県歯科医師会

協力 一般社団法人 松阪地区歯科医師会、NPO法人 三重県歯科衛生士会、三重県歯科衛生士会松阪支部、三重県公衆衛生学院、愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科

知事のあいさつ

設立10周年記念式典・交流会

～無限の地域力で子どもを育てよう～

平成27年5月25日(月) アスト津 アストホール

第一部 式典

- 開会あいさつ
- 来賓祝辞
- 財団表彰
- 財団の歩み プロジェクターによる映像と音楽
- 基調講演

Program

「子どもを真ん中においた地方創生
～地域力は無限～」

渥美 由喜様 内閣府少子化危機突破タスクフォース
政策推進チームリーダー
株式会社東経経営研究所 研究部長

● パネルディスカッション

テーマ「地域力は無限」

コーディネーター 渥美 由喜様

パネリスト

西城 昭二様 前三重県健康福祉部 子ども・家庭局長
水元 正様 三重県青少年育成市町民会議連絡会 会長
前田 光久様 旭電気株式会社 代表取締役社長
前みえ次世代育成応援ネットワーク 運営委員長
馬場 啓子様 元三重中京大学短期大学部 食物栄養学科 教授
飯田 眞理 公益財団法人三重子どもわかもの育成財団 常務理事

第二部 交流会

● ティーパーティー

鈴木知事からは「これからも関係者の皆さんのご協力を得て財団がバージョンアップをしていくことを心から期待し、三重県としてもしっかりバックアップをしていきたい」との激励のお言葉。



子ども若者育成支援に関する財団表彰。今回の受賞者は、
伊藤 香様(桑名市)
富士本 一馬様(熊野市)
い組子供太鼓様(尾鷲市)

「地域力は無限」をテーマの基調講演とパネルディスカッション。それぞれの立場から子どもの育ちについての熱い思いを語っていただきました。



三重県内青少年育成市町民会議の地域活動パネル展



家庭の教育力や地域のきずなが失われてきていると言われ、子どもや若者の育ちを危惧する声が増える昨今、大人や地域社会の果たすべき役割は重要です。私ども財団は、このことを認識しながら10年間を歩んでまいりました。

この間、協働させていただいた青少年育成会議の関係者、企業、団体、大学、地域のボランティア等の皆様とのネットワーク、そして皆様とともに出会った多くのご家族、子どもたちからもらったたくさんの感動や気づきが、私たちの財産となってきました。

これからも、私たちはこの財産を守り育てていくことにより、子どもや若者の育成という使命を果たしていかねばなりません。そこで、「無限の地域力で子どもを育てよう」をテーマに、10周年記念式典を開催しました。会場には様々な分野から予想を超える200名あまりのお客様。この感動を、更に前に進む「力」とし、これからも私たちは歩み続けます。

公益財団法人 三重子どもわかもの育成財団
理事会
職員一同



財団沿革

平成元年	2月1日	財団法人三重県児童健全育成事業団設立 (三重県立みえこどもの城管理運営財団として設立)
	6月11日	三重県立みえこどもの城開館
15年	4月1日	三重県立みえこどもの城大規模リニューアル (科学展示館的機能から参画型遊びの館への転換) 子どもの遊びを様々な形で提供する技術力を磨く
16年	4月1日	社団法人三重県青少年育成県民会議と統合、 財団法人三重子どもわかもの育成財団となる 以降、青少年活動の地域ネットワークにより、地域社会に 子ども育成支援の輪を広げる
18年	4月1日	第1期(平成18年度～平成22年度) 三重県立みえこどもの城指定管理者となる
23年	4月1日	第2期(平成23年度～平成27年度) 三重県立みえこどもの城指定管理者となる
24年	4月1日	公益財団法人三重子どもわかもの育成財団に移行

式典出席者のほぼ全員が参加した交流会。分野をこえて楽しい語らいのひとときでした。



ボランティアってなあに？

みえこどもの城ボランティアグループ 活動紹介

子どもの成長には、多様な体験、人との触れ合いが欠かせません。こどもの城では地域社会の大人たち、若者たちが子どもの応援隊となって活躍しています。子どもたちをわくわく、ドキドキさせたいと今日もボランティアさんたちは、どびっきりの笑顔で待っています。

「自発的・主体的な意思で」

「社会問題の解決に理解と共感持つて」

「労働力、技術、知識などを提供しよう」

案内に追われたが、実のある1日だったなま

久々にボランティア仲間とあえて嬉しかった

ボランティアで年々若くなっているような気がするよ

子どもたちと触れ合う運営ボランティアさん（P8 をご覧ください）サイエンス工作など特技や知識を活かそうというボランティアさんが活躍中。絵本読みきかせ、声掛けボランティアさんなども募集しています。

楽しく学べる食育講座

はぐくみタイ夢

はぐくみ隊とは、地域の栄養士さん、保育士さん、農家の方々たちのボランティアグループです。

親子クッキング

毎回テーマを決めて、親子で美味しく楽しく「食」について学んでいます。



絵本の読み聞かせ



毎回、はぐくみタイ夢で実施する内容にあわせて絵本を1～2冊読み聞かせてくれます。

栄養バランス満点のランチョンマットも作ったよ



豆まき大作戦！みんなで大豆を育てよう！



地域の方のご指導のもと、お借りした畑に大豆の豆まきをしました。

畑に建てる看板も親子で手作り！

8月

6月



豆まきから2カ月後、60cm程に伸びた苗。たくさん実をつけてくれることを願ってみんなで草取りをしました。



「自分で作って食べる楽しさを通して「食」への関心を高め、子ども達が元気にいきいきと生きていく力を育むために、バランスの良い食事やみんなで楽しく食べることなど「食」の大切さを「はぐくみタイ夢」の中で伝えていきたいと思っています。」

3月28日(土)～5月17日(日)

にんにん忍者体験2

みんなで修行を
するでござ～る

4879人のちびっ子たちが
忍者の仲間入り!

にんにん忍者体験は、子どもたちが
忍者修行の場に変身したイベントホール
内で様々な修行をクリアして認定
書をゲットする人気の企画!「暗闇修
行」では怖くて泣いてしまう子もいま
しましたが、パパ・ママ
の応援が子どもた
ちのパワーになって
怖い道も勇気をもっ
て進め、立派な忍
者になりました。



忍者になりきる
ボランティアの皆さん

みえこどもの城 ～ワクワク!なりきり体験～

子どもが役になりきることで、子どもの想像力・思考力を育みます

7月18日(土)～8月30日(日)

ふしぎな島の
宝さがし

海をくぐって宝はどこにある!?

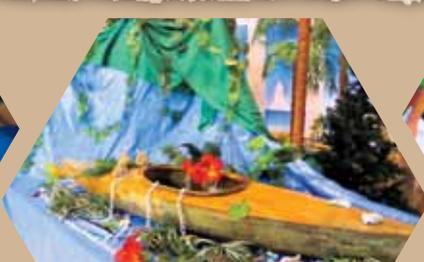
夏休みを満喫!

6227人の子どもが体験!

ふしぎな島の宝さがしでは、イベ
ントホール内に隠された宝箱を宝の
地図をもとに探しあてる企画です。
宝の地図を片手に夢中になって駆
け回る子どもたちの表情は真剣そ
のもの。なかなか見つからないと
きもあきらめ
ず次こそは!
とチャレンジ
する様子にス
タッフも感動
しました。



ボランティアさんが
海賊!?



フック船長に
変身!!



みんなの声

子どもたち

「宝箱を見つけるのが面白い」
「来るたびに宝がちがうので楽し
みにしている」
「夏休みの宿題、絵日記にかくつ
もり」

保護者の皆さん

「親子で楽しめました」
「最近、子どもが家の中でテレビ
ゲームばかりしているので、
こんな体験は面白い」
「絵本や記念写真コーナーがあるの
で、待ち時間も楽しめたのがよい」
「せっかくなので、お父さんはフ
ック船長になりました」

ボランティアさん

「たくさんの子どもの笑
顔にパワーをもらってます」
「見つけた!という大きな声に
こちらまで笑顔になります」
「たくさんのご家族と接する
ことができ幸せな気持ち
になりました」